

# 会議状況等報告書

報告者

会議の名称 第1回大府市緑化推進委員会

日時 令和5年5月22日(月)9時30分～

場所 委員会室1

出席者 只井委員、中村委員、服部委員、樋口委員、深谷委員、水谷委員、島田委員

市長、近藤部長、深谷課長、清水係長、増田主査、奥村主事、渡邊

## 内 容

1. 委嘱状交付

2. あいさつ

3. 委員長・副委員長の選任について

4. 議題

(1) 緑花推進応援プロジェクト実績報告(令和4年度)及び企画提案書(令和5年度)について

——事務局から継続事業の中級の説明——

委員) 前回のときにも伺ったかと思いますが、共和夢見坂の前をよく通っているのに、一生懸命活動されているのを拝見していますが、木が枯れてしまったところに花を植えている中で、現在、まだ何本か枯れていない木があると思いますけど、枯れた木を植え替えることはしないという中で、この残っている木は、元気にさせていくつもりなのか、そのままほったらかしなのかどうか事務局にお伺います。

事務局) 今後、残っている木はそこが木陰になり、皆様方が少しでも休憩、親睦の場となるようなそんなことも期待しながら今後も管理していきます。木が無くなってしまっているところは、当初からうまく育てられなかったと考えております。

委員) 今のハーブストリートは、とても楽しくなるような癒やしの空間だと感じます。前は草ぼうぼうだったところが今はクちなシやサツキが植わっていて、いつも管理がされているので、とてもいいことだと思っております。それと、アダプト吉田は、あれだけの広い敷地を皆さんで管理されていることは素晴らしいと思います。お花のところに手作りの竹で花の名前が立ててあり、そうするとこの花は何かなって思う人の学習にもなるのかなと思います。それと季節ごとに花の変化が楽しめることも、とてもいいことだと見させていただいております。それと、BT木の山さんの花壇は、交通量が非常に多くて名古屋の方から来ると大府の入り口になる場所なので、お花の色合いもよく、目立つということとは、大府市の市民のイメージアップになっていると思います。それから、木の山のお花の看板はやっぱりよく目立っていて、以前に、他の委員さんが提案されたことですが、あれもいいなということがよく分かります。本当にとにかく、大府市の玄関口でやって、華やかなお花で迎えてもらえるのは、大府に来てよかったと思う人もみえると思います。

事務局) 地域の方々が一生懸命やっていただいた成果だと思っておりますので、今後もこういった形での支援を少しでも広げていければと思っております。

委員) アダプト吉田が花の名前をしっかりと掲示してくれているとか、多分それぞれの団体が当たり前に行っていることが我々第三者から見ていると、という事例が、各団体から出てこないような気もして、何かそれぞれのいいところをうまく抽出して、それを横展開、若しくは、いい事例として展開する。そういった動きが、必要なのかと思いましたが。それはなかなか各団体からの事業報告が上がってこないと想像しますが、事務局が管理されている方法で、資料ベースでの報告がありましたが、何かそういった各団体の取組みのいいところを抽出できるような仕掛け仕組みの御提案を事務局からいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局) 昨年度、委員会でお話がありました提案事業のPR看板を作成し、各団体の花壇に設置してPRし、看板にQRコードを載せて、歩いている方がスマホでどんな事業か市のウェブサイトですぐに調べられる仕組みがつくれておりますので、そういったところに、もう少し各団体の一般的な活動を紹介できるようにウェブサイトを充実させていただけたいと考えています。あとは、例えばちょっとできるかどうか分かりませんが、こういった取組みをメディアなどに取上げていただいて、地域の方に見ただけでも可能と思います。

委員) 今のホームページの形でのご提案ですと、例えばハープストリートさんの取組みによってこうなったという、変化の可視化というか、成果物としてセットになればメディアへのPRにも繋がるでしょうし、提案型プロジェクトのホームページに飛んだ場合、他でこういう活動によって生まれ変わりました、というところの見せ方にも繋がるかと思えます。何か各団体で良いところも、他にもあると思うので何とかそういったいい事例を、共有する、若しくは、開示して、可視化してあげる。そういった取組みにも発展できれば良いと感じます。

委員) ビフォーアフターが分かるようなフォーマットを整え、必ず提出してもらいたいと思います。書類だけで終わってしまうので、きちんとしたフォーマットを作っていただけると、報告する方も必ずそこだけはやらなきゃいけないとなるので、ぜひ作っていただけたらと思います。今の状況では、各団体が自主的に掲載されてそれを確認しているというだけなので、その辺を明確にさせていただけたら良いと思います。

それからもう1点。若葉緑化グループの収入が5万円、支出6万3,423円とありますが、この差額はどうかされてみるのか気になります。マイナス金額をどうされているのか、どんな話し合いされたのか事務局にお聞きしたい。

事務局) 最初にそれぞれ提案いただいた方たちのフォーマットでございますが、3ページの実績報告書をご覧ください。基本的にはこのフォーマットであれば、共通の報告書が出てくると考えて作成していましたが、先ほどのお話もありましたビフォーアフターが見にくいというところは少しあるかもしれませんので、今後、私どものほうから、何らかの形で御提案、御提示できるような形にしていきたいと思っております。次に、それぞれの実績報告によります費用の差額でございますが、私どもといたしましては補助経費を5万円としておりますので、補助経費の中では5万円は使ってくださいということになるかと思えます。それ以上のところにつきましては、地域の方々は何らかの形で、予算を集められてやっていただいているというところがございます。これも今までは、逆に言うと我々のこの提案事業という事業をつくる前は、それぞれ皆様方がそれ以上の金額を出して、花壇をつくっていただいていたというところもありますし、今回この事業があることで新しく手を挙げてくれた方もお見えになりますので、基本的には、私どもの支援は5万円しかできませんが、それ以上のところには、地域の方々は何らかの形で予算を集められて、事業として展開して見えるというのが現状だと認識しています。

委員) では、市としては手が上がった企画に対して5万円以上かかっている経費に対する予算は把握してないということでしょうか。

事務局) 経費として5万円以上で上がってきているもの、それ以外にどこまでかかっているというのは、実績報告書に記載されているところもあればそうじゃないところもあります。我々としては報告書に出てきている予算までは把握はしていますけど、結果的にそれ以上出しているところもあるということは認識しています。

委員) せっかく盛り上がっているところに、お金の部分で、何か問題が起きて、もう続けられないというのはとても残念な気がしますけど、逆に言えばそれを覚悟でやってらっしゃることなので最悪、もうこれ以上無理だというときにはやめていただくしかないのかということもあるとは思いますが、段々やればやるほど、やる気が出てきてお金もかかるかなと思っていて、超えた部分を今後、何かの形で助けてやれるのかなと思えますが、難しいとも思えます。

委員) 初めてなのでちょっと分からないことだらけで教えていただきたいですが、5万円を超えてしまった団体は、お声掛けして上級を目指すことを提案されていますか。既にそのようにお声掛けをされているのか。その辺を教えてください。

事務局) 提案型プロジェクトは、初めの一步、中級、上級となっています。以前は、上級しかなく、部門分けをしたのは、昨年度が最初になります。昨年度までは中級が4件だったのに対し、今年度は5件となっており、1団体始めの一步から中級にステップアップしています。また、中級の団体に対して上級になりませんかとこちらから申し上げているところもありますが、現在のところそこに至っていない状況です。我々としては、各団体が少しずつステップアップしていくことが1番良いと考えております。

先ほど、ご意見にもありました費用の面に関しては、元々活動してくださっている皆様に、少しでも支援ができるようにと準備させていただいた予算となりますので、全てを補助で賄えるというものではありません。この取組みの本来の形は、皆様方からのご提案に対し、公共用地に緑を団体で地域の協働としてやります。ということで手を挙げていただいた方に少しでも支援できればというものになります。現状ではまずは提案いただき、我々がご支援させていただき、その後にご支援をいただければと思います。前回、前々回に委員長からも支援の話をいただいておりますので、今後どのような形の支援が良いのか、できれば地元企業等に支

援していただき、市からの支援に頼らず、地域でサポートいただける形になれば、良いサイクルとなり、地域の緑化にもつながると思っております。

委員) ハーブストリートの活動場所は、こういうお金をもらう前から、花好きの方たちが、『皆さんもあそこをせっかくの新しい道ができたので、お花で飾ろう』という想いから始まったので、実際こういうお金を支援いただけるということには、非常に喜んでいるという声もあります。花好きの人たちが集まって今のハーブストリートになったということは、近くにいてそう感じております。

委員) やはり、委員からの問題提起にあるようにこの補助金がなくなった後に、どう持続可能になるか、継続できるかというところが1番、私としても気になる点で、先ほど少し事務局から話があったように、5万円の使い方を聞きますと、5万円を超える部分については特に確認しませんということでしたが、今の内情というか、実情を少し把握するため、5万円を超えている分はどうされているのか、地域から有志で集めているのか、例えば町内会から捻出しているのか、何か工夫されている点の確認。委員からもあったように、お花好きからの融資によってやっているという団体もあるでしょうし、その辺りは我々としても知っておく必要があるのかと思います。これが3年間で終わった後に、その後はどうされるのかといったところのアフターケアも含めて、今後、協議も必要だと思えます。予算が5万円以上かかっている団体に対して、どのような予算で動かれているのか。その辺り少し聞いていただくと良いと思いましたがいかがでしょうか。

事務局) 歳入歳出の実績等でも色々いただいております、5万円を超える部分については、基本的に皆様方の自主財源になると思えます。公共用地の雑草が生えているところを、地域の方たちが花を植えて景観の向上を図っていただくというのが本来の目的であるということで、そこを支援させていただければ、というのが本当のやり方になっていきますので、それ以上のところをやっているのってというのは本当に嬉しいことでありながら心苦しいところでもあり、我々もそれは実感するところがございます。例えばコミュニティや地域の民間企業の方がこういったことにサポートしているとか、そんなうまい流れがあると、継続的な活動を行っているのではないかと考えております。

委員) 始めまして。今日は本当に色々聞きながらすごいことをやっているなと思えます。私は日進市に住んでいますが、花好きの人間の集まりのグループが今年で28年目を迎えるのですが、市役所の玄関だとか、公園の花飾りを市から委託されてやっています。初めの一步に対して補助額1万円というのは、いろいろお花とか買ってやっていると1万円では何にもできないのではということを感じました。まずはその始めの一步の方はどれぐらいの予算でできますかということをお聞きになってくださって、提案書みたいなものを出してもらってやられたほうが良いと思えます。『1万円じゃ何もできないよね』と思い、手続の、負担も考えて、提案なしに活動されている方も大勢いるじゃないかなと思えます。だから、この中級の5万円というのをどのようにして5万円と設定されたのか分からないですけど、上級とすごい差があるので、もうちょっと緩和して、提案書を出してもらってこれぐらい出てきますよっていうのを、諮ってみたらどうかと思いましたがけれども、どうでしょうか。

事務局) 初めの一步の方たちには、こういった制度がありますということウェブサイトで紹介させていただいております。ご自宅の目の前にある市の花壇そこを何かこのままじゃいけないから自主的に花等を植えてみたいという方たちが手を挙げてくれています。その方たちがやってみようという中で、『本当に最初から5万円で3人以上の団体でできるかな』、という意見がありましたので、例えば御家族3人で、道路にある植栽柵のごみ拾いや花植から始めてみたいのだけというような相談をもらいますと私どもの方からこのような支援がありますので、もしよろしければ、花や苗といったものは、市からお出しできますので、何ができるか御提案いただいて、その上で、私どものほうからお支払いさせていただきますのでというやりとりで、今はやっております。それがスタートで、段々と中級、上級になっていく。このようにして地域の皆さんが、使われていない公共用地を地域のために花を植えていきたいというお気持ちが前提となっていると思っております。

委員) 元々、この提案型緑化事業には、後ほど説明があると思えますが、上級コースの3団体のみが活動していて、そこに新たなメスを入れ、色んな団体が、この緑化事業提案型事業に、参入しやすいようにということで中級や初めの一步という新たな枠組みを、昨年度から新たに創設して始めたコースになります。ただいまおっしゃっていただいたような資金面での課題などは、御指摘があったように、実際どれぐらいかかっているのかという規模感が、我々自身も分かってないので、しっかり把握をしておくべき内容かと思えます。今やられていることをしっかり、把握し、予算面でもしっかり把握をして、継続してやっていただけるような仕組み仕掛けというのを、この会議でも継続して議論を進めていく必要性は大いにあろうという風に、今回の皆さんの御意見を聞いていて感じます。現時点でのこの制度はもう少し走りながら、実績も見て、また、先ほどおっしゃっていただいたように中級の方をうまく上級に、ステップアップしていただけるか、初めの一步から中級に行っていたらただける方は中級にチャレンジしていただく、そ

ういった動きを継続してやっていただきつつ、現行の課題というのをしっかり捉えながら、次回の制度改正に向けての基礎資料として、継続して議論いただければなというところかと思えます。ですから、今、改変しないといけないような大変な事態に陥っている状況ではないということは、確認はできましたし、それぞれの団体さんがやっていただける範囲で活動を継続してやっていただけている実績も伴っているという点には、皆さん、認可いただける内容かと思えますので、よろしくおしいたいと思えます。

委員) もう1個質問です。今日、PTAの方も見えていますので質問します。小学校とか中学校とか、花を育てることがすごく盛んだと思えます。それに伴って、各小学校に一つの場所、特に道路に面したところに、お花を植えてもらうとかそういうことは考えていらっしゃるのですか。よくコンテストとかありますよね。小学校、中学校、それをもっと目指すような感じで、幼稚園でもやられるということもいいことじゃないかと思えます。

事務局) この提案制度っていうのは、学校とか、公共的な団体がやるわけではなくて本当に個人の方とか、地域の企業の方にやっていただく制度となっています。また、それぞれ小中学校には別の緑化事業とかもありますので花を我々のほうから提供させていただいて、そういった花壇に花を植えていただくという作業はやっていただいております。学校シンボルツリー事業というものもありますし、各学校に大府市の市の木、市の花になった桜とかツツジも順番に植えておりますので、そういった意味では、木を植えて、育ててもらって、その人たちが大人になって、子どもができて、『これ父ちゃんが植えた木だぞ』というように、親から子へ、子から孫へと引き継がれるような事業も行っております。

委員) 今、学校の御意見をいただいたので、PTAの代表として少し御意見させていただこうと思えます。私もこの委員会に初めて出席して、こういった事業内容を見て、とても素敵だなと感じました。PTAとしては、子どもたちの毎日の安全な登校のために、交通当番等をして、子どもが事故に遭わないように気をつけている次第です。ですので、こういった水やりですとか、草取りですとかそういった活動をしている方々が、もし、子どもたちの登下校の時間帯に、少し、活動の時間を合わせてくださると、学校側としてはとても、PTAとしてはとてもうれしいなと思えます。やはりたくさんの方の目がある中で、子どもたちが安全に登下校できることは、とても大事なことだと思っておりますので、そのことは、少し御意見させていただきました。

事務局) そうですね、なかなか時間を合わせるとこまで我々も認識はしていなかったのですが、場合によってはそういった時間にやってもらえると1番良いのかなと思えます。ですが、否定するわけではありませんが、花植作業の方たちをやる方が高齢者なので、朝が早いかなというところもあります。BT木の山とかは地域の顔が良く見える方たちがやってみえますので、そういった方たちと子どもたちの交流の場にもなるのかなと思っておりますし、オレンジガーデンや大府コミュニティも子どもたちと一緒にやっています。地域の顔づくりができればそういった交通安全や防犯的なところも良くなっていくと思っておりますので、これが一つのきっかけになればと思えます。

委員) 非常にいい御指摘というか御示唆いただいたなと思えます。例えば、通学路上である等も含めて、地域の小学校の通学団通学の見守り隊は、学校学区ごとに決められていますよね。その情報は開示されていますか。どこに、誰が立つよとか、こういったところに立っているよ、といった情報があれば、我々のほうから、朝、通学、子どもたちの見守りもおしいたいということも御提案できるかなと思えました。

委員) 通学路に関しては、花の景観は癒やしの場として大事だと思えますが、景観以前の問題で、歩道にすごく草が生えていて子どもが歩道に入りたがらなかつたり、歩道がない狭い道ですとポールを市の方が立ててくださって、あとグリーンゾーンをつくっていただいて、子どもが安全できるようにしてもらっていますが、やっぱり道路の脇のところから、長い草がこういう季節なので、ちょっと今また生えてきているので、PTAで草刈りやルートとかいう話がありますけれど、そういったところもいろんな方に気がついただけるとうれしいなと思えました。

事務局) 草については、なかなか大府市内全部を一気にはできないので定期的に実施させていただいております。こういう提案型で手を挙げてくれる方たちは非常に地域に対して熱心に活動してみえる方たちが多いので、色んなところでコラボレーションしたり、共通認識がとれたりすれば良いのかと思えますので、引き続きおしいしていくところだと思えます。

委員) ぜひ、コラボレーションできるように御支援いただけると良いかなと思えます。

委員) 今の通学路の話ですけど、ハープストリート、あそこは通学路にも使われていますので、朝や昼間の通学の時間帯に活動されているので、いい事例になるのかなと思えました。

委員) ぜひ、児童を守るという視点と緑化とうまくコラボレーションできる接点がたくさんありそうだなというのを今の御議論から感じましたので、連携に向けて、何ができるかといったところも含めて、御検討いただけると良いかなと思えます。

委員) はい、ありがとうございます。今、お話を聞いていると、まさしくこういった方々を支援できる枠組みがあって良かったとつくづく思いました。昨年度は初めの一步からというところではありますが、何か、御質問等ありましたら、伺いたいと思いますが委員の皆様から、いかがでしょうか。

委員) 今の活動場所が広って言われましたけど、どのくらいあるのでしょうか。  
) メジャーで簡単に測って、8m×12m程度です。ただ、真四角ではなくて三角形で傾斜もあるので正確な数字はわかりません。

委員) ぜひ続けて頑張ってもらいたいなという感じがしました。

委員) ちょっと提案ですけど、とても広って言われたじゃないですか。たね団子って聞いたことありますか。東北の震災のあとにすごく皆さんの心が沈んでいるときに生まれた種団子っていう手法の種まきの仕方ですけど、この団子づくりがすごく楽しくて、幅広い世代が楽しむことができます。また、広範囲に、その種団子をつくって、植えておくといろんなお花がばーっと出て、草も生えにくいので、やられたらどうかという提案をしたいと思います。

委員) せっかくお見えになっているのでお聞きしたいのですが、お金の関係ですが5万4,540円と出ていますけど、5万円を超える部分はどうかというおつもりでしょうか。

実施団体) 私個人の自腹です。

委員) そういう話がお聞きしたいです。そういうところに私たちが出せないですけども、お聞きするということがとても大事で、そういうところを抑えていって、バージョンアップしていけば良いかなと思います。

委員) 第1第2第4日曜日午前中、週に2回程度、活動人員中、日曜日は2から4人、基本的に4人のグループですけど、頑張ってください。

実施団体) 皆さん何かしら仕事をしているし、私もちょっと仕事しているし、天気関係もあつたりしますが、助けに来てくれたりする人もいらっしゃるの、出来なくもないけど、お願いするのがちょっと苦手です。現状、一応助けてくれる方はいて、声掛けてねといつも言われるのですが、その辺が、自分もちょっと空いた時間にやったりするので、結構夕方に活動しています。今日やれるかやれないかがちょっとスケジュールリングが上手く出来ず、予めこの日というのが日曜日ぐらいしかとれず、平日は結構1人でやりがちです。

委員) これから始めるっていう段階で、「できなくもない」という意見は言わないでください。やっていただけるからお金を出すので、そこはやっぱりしっかり戒めていただかないと。

実施団体) ちょっとつけ足したいのが、自分自身でやるのがとても好きなんです。サスティナブルとかそういうのに関心があって、除草剤とか、殺虫剤をなるべく減らしたいという思いが根底にありまして、それで目の前にある草ですとか、ちょっと砂も砂土化してしまっているようなところを、何か植栽することで土が変わるであろうし、土が変われば植物もいろいろ植えられるだろうし、ということでやりたいっていう気持ちがあって、それなら自腹を切ってもいいし、1人でやっても楽しいところもあります。それを誰かが見て喜んでくれたりしたら、もう単純にそれが楽しくてやっているところですので、こんなありがたい事業を知らなかったの知って、ラッキーだなと思っています。

委員) ぜひ生かして、やっていただけたらと思います。この後も、大きくステップアップしていただけたらと思います。

委員) 私も消防署の跡地は良く通ったりします。昨日も通ったのですが、何か、その花壇の中で工夫が色々としてあって、これはちょっとおしゃれなことをやっているなっていうのを感じたのと、あと今タマネギが何か植え終わって、もうすぐ収穫できる。だから色々お花と野菜っていうコラボ、これもなかなかあそこは結構人が歩いて散歩コースでもありますので、車はもちろん多いですけど、歩いている人が夕方結構みえるので、その方たちも楽しみに見ている場所であると思います。

実施団体) たまたまですけど、昨日のタマネギの収穫を親たちとやらしてもらって、今回はこれが収穫できるものとか実がなるものは、確かNGと聞いているのでちょっと言えなかったんですけど、そういうことですのでいお子さんに土に触れていただいて、またやりたいって言っていただいた私も幸せでした。

事務局) 先ほどおっしゃられたとおりで、申し訳ないのですが、実がなるものは補助の対象ではありません。ここの管理は初めの一步の時から管理してくれているところで、その一部だとは思いますが、一定のルールをもった交付金という形になっていますのでご理解ください。

委員) では、今、お話を聞いていただいたようにステップアップとしてやっていただけるというところも確認できました。先ほど、活動を継続するというか、広げていくステップとして、このサークルの中でやっていくということも、大事なことだし、色々仲間を増やしたり、ほかの人にお願いをしたりするということも、ぜひ積極的にやっていただきたいのですが、JAと連携するとか、農家と連携しながら、この受給が3年経過した後、継続的にそういったこの周辺地域の人たちと一緒にこの花壇をより良く継続していくという視点もできそうな地域なんじゃないかなということも地図上で、拝見して思いましたので、まずは、ここで今年度トライしていただいて、また、何か課題ですとか、お困りの点があれば、事務局を通して、我々のほうに御報告等含めて、いただければと思っております。

委員) では、質問等なければ、委員の方々にこの御提案が、今年度もこの形で行って良いかどうかだけ、皆さんに御確認いただきたいと思えます。御説明また直接来ていただきましたが、中級の5団体につきまして、提案のとおり活動を許可していいかどうか、何か御異議等ありましたら、御発言いただきたいのですが異議はございませんか。

【異議なし】

委員) ありがとうございます。では、この委員会として、この中級の5団体は御提案のとおり、承認したいと思います。

——事務局から上級の説明——

委員) 水やりって1番大切ですけど、公共の施設は自動灌水器がついていたり、市でつけてくださったりしていますが、皆さんこの水やりの水道代とかそういうのを予算の中には入っていないですけど、それは皆さん承知の上でやられているのでしょうか。

事務局) はい。水やりの件につきまして、毎回色々議論になるのですが、公共施設の公園とか、水が近くにあるところは、我々が管理している水道になりますので良いのですが、例えば道路ある花壇などは、水道もないので、地域の方たちがいろいろ工夫されて水をやっていただいているというのが現状でございます。

委員) そしたら何か持続できるような団体には、市の方から、自動灌水器をつけてあげるとか、そういう、制度などはまだないですか。

事務局) ございません。今の話は、特に3番の大府コミュニティさんが駅前で広げていこうとするときに、水やりの問題があって、市がベースインフラとして整備してほしいという、御要望、御意見を頂いているというのが現状です。今、御意見いただいたように、今後の課題として継続的に検討していくべき話と思えます。

委員) 中級のときもそう思いましたが、今回、この場では、説明を事務局がされていて、継続されているところはほぼ同じようなことで、変わったことはないのであれば、ということだと思えますけど、実際、全く変わったことはなく基本的には同じような活動をされるってということで認識してよろしいでしょうか。

事務局) 前回との内容と変化がないかチェックはさせていただいていますが、花まるOBUの活動場所が少し変わっていたりなどはありますが、やってみえる内容は一緒ですから、大きく変わっていないという認識の中で、今回、私のほうから御説明をさせていただいておるといってございませう。もし大きく変わるなら、説明は要るということにしております。

委員) 場所が変わったとかいうのがあれば、ここでまたそういう話も、事務局からで良いので、教えてもらえればと思いました。

委員) それでは、今、御提案いただいた3団体の審議に移りたいと思えますが、提案されました内容で、承認するという方向でよろしいでしょうか。

【異議なし】

委員) 異議がないようですので、提案いただいた3団体は継続として承認いたします。委員の皆様御審議いただきありがとうございました。

事務局) 提案団体の交付金額の報告をさせていただきます。

BT木の山	184,000円
花まるOBUプロジェクト	200,000円

結果は速やかに各団体のほうに通知いたします。

——事務局からはじめの一步の報告——

委員) 今、御報告いただいた資料は、昨年度の実績報告が3件と、現在相談がある内容の御報告をいただきました。何か確認、質問等ございましたらお願いします。

委員) 実施団体さんの報告をお聞きして、すごいことやられているなっていうのを改めて感じました。例えば土をつくるどころだとか、最初の議題でも話したように、事業の中に埋もれちゃうにはもったいないような、何か良い取組みじゃないかなと思います。何かこうこういうことをしたいって思っている人が他に市内にいそな気がしていて、何か土を改良したいとか花を植えたい、何かそういったインデックスから、こういう取組みの情報が、市民の方に広がるような仕掛けっていうのが、やっぱりあるべき姿なのかなというのが資料を拝見して、つくづく感じた次第です。先ほどのコメントと同じコメントになってしまうのですが、何かこう事業の報告の中の下の階層に埋もらせるのではなくて、土の作り方とか花の植え方とか地域と一緒に花づくりをする。大府コミュさんみたいな取組みとか、何かこう、取組みベースのインデックスで、うまくいい取組みを広げていくような情報発信の工夫が今後ちょっと必要なのかと感ずるので、その辺り、継続的にいろいろ、知恵を出し合って、継続審議できるといいと思います。

委員) 1万円という非常に少額の中ではありますが、それぞれ初められる方を支援するという、この仕組みから、非常に良い取組みが、去年できたのではないかなということをこの報告から感じました。ぜひ、これがまた広がりを見せて中級上級へのステップアップも含めて、展開が広がるといいなと思います。では、初級の方は今回御提案いただいた内容で、よろしいかと思ます。

委員) では、改めて今回初めて報告ベースの審査をやっていきましたが、何かこの審査方法の御意見とかいかがでしょうか。今回の審議の中でもいくつかコメントを頂戴しています。限られた予算の中ではあるけど、その予算の使っている内容というのはしっかり押さえていただくと同時に、それ以上かかっている予算は、市も支えることによって、この制度の仕組みの課題とか、現状というのをしっかり把握すべきじゃないかという点。なかなか団体は今やっていることのいい事例という判断はつきにくいので、各団体がやっている良い事例をより、オープンに情報開示できるような仕組み、仕掛けというのが必要じゃないかというのも、御意見としてあったかと思ます。あと、変更点があった場合は、その変更点をしっかり事務局のほうから御報告いただくような、体制仕組みがあるべきだという点が、この審査方法、新たにやってみた中で出てきた課題かと思ますが、そのほかで何かありますか。

委員) 補助のお金を使うということで委員会も何回かありましたけど、補助の対象となる経費というのは、先ほども話の中でも実がなるものは駄目だとか、そういう条件があると思ますけど、経費として、認められているものは、今後拡大することはなく、このままでずっと行かれる形なのか、あとは、そこにはちゃんと周知されているのか、申込む方たちにどうなのかというのを1回聞きたいと思ます。

事務局) 作物が採れるというところが、農業になると考えております。まずは、花などで取り組んでいただきたいと考えております。それから経費につきましては、全体で上級と中級含めて100万円という予算の中でやっています。今回も中級が増えていくことでどんなふうに動くのか、私たちも今、悩んでいるところではあります。後1年やると3年になりますので、その辺を見据えてその次のステップどうしていくかというところは検討課題というのが今回1年やって思ったところです。初級が中級になり、中級が上級に行かないときには、中級ばかりが増えてしまうという課題は我々のほうで認識しています。

委員) 金額もですけど、費目について、その他の経費で市長が必要と認める経費はどこまで見ることができるのかというのは、具体的などころまで見てないですけど、きっちり決まっています、それはもうその範囲でしか認められないとなっているということなのですか。今後、変わることはあるのでしょうか。

事務局) お手元の次第がついています資料の6ページになるかと思ますけど、この4番の補助対象となる経費という中に費目がございまして、その他の経費の中に、委員からおっしゃられたとおりその他市長が必要と認める経費というものがございまして。ある意味我々の中でも、特例中の特例で、原則は原材料費までのもので納めていただくということで対応しているというところでございます。

委員) 大府コミュさんは、先ほど、お話があったように学校教育との連携が非常にうまくいっているし、地域コミュニティっていう枠の中でもうまくいってらっしゃる事例、この緑化提案型という枠なのか、むしろそれ以上なのか、いろんな事業を包含している取組みに対して20万円補助している。というふうに認識できます。ここまで育てただけだと、この提案型事業の予算の枠でいくよりも、地域推進というか、学校教育とか、そういういろんなところのセクターからの支援があるべき姿なのかなというふうに、改めて、今回の提案書も見ながら感じたのです。

が、何か、そういった予算の費目がないからとかではなく、こういったコミュニティ推進協議会ベースのほう補助の在り方について、緑化ベースのほかの組織からの補助というのは、できるものなのか、その辺りいかがですかね。

事務局)

大府コミュニティへの補助ですけど、昔、緑化推進モデル地区ということをやったことがあって、今までの通常の花いっぱい運動とか、ちょっとした花壇の手入れからもう一歩進んで、もっと緑化を進めてほしいというモデル地区事業というのを募集した中で、大府コミュニティが手を挙げてくださって、大府駅前だとか、そういったところがかなりグレードアップしたという経緯がありました。その後、それを続けていくために、やはりコミュニティというのは一つのコミュニティ協議会で、大府だけではなくて共長があったり吉田があったり、北山があったりと、7地区のコミュニティがあるので、横並びで全体の総額の補助っていうのは、市から出ています。それ以上に、緑化をやりたいという志を持たれて、それで足りない分をたまたまこういう提案事業があるので、ということでやらせていただいているという、それもある程度続いていますけど、委員長が言われるように、コミュニティの事業と、この提案型事業っていうのが、実はかなり重複している部分もあって、コミュニティの人、また、基本的には手弁当というか、時間でお金がもらえるわけじゃないので、本当にボランティアでやっていただいているわけですけど、コミュニティとしてやっているのか。企画提案事業としてやっているのかというのは、正直分からないところがあり、本当にここの緑化の企画提案事業でやっていただくというよりも、本来でいくとコミュニティ活動としての中になるのかなという気はしています、10年以上前からやっていますけど、よくほかのコミュニティから手が上がる想定で、最初確保していたのですが、今のところどのコミュニティも、手が挙がらないので、やはり他のことで手いっぱいなのだろうというのがあります。委員長のおっしゃられるように、緑化の企画提案事業だけじゃなくて、本当にコミュニティ活動としての数をやっていただいているので、どこかで何か切り分けといいますか、ステップアップといいますか、そういったものが必要ではないかと思っていますところ。また、たまたま欠席されましたけど、桜井さんはこの委員でもありますし、この上級の3団体のうちの2団体のトップを兼ねていますので、なかなかその辺もちょっと難しいところもあり、ただ、やはりそのお金が必要だということも我々承知はしていますし、協力してあげたいという想いはあります。その辺は急に方向転換するのが難しいですけど、事業の切り分けというの、今後検討していかなければいけないじゃないかなという課題として認識をしております。

委員)

背景も含めて、理解できました。ぜひ、先ほど、御質問にあったように、今後の継続的な予算の確保という点からすると、大府コミュを対象に、例えば企業の協賛だとか、オーナー制度など、新たな予算確保の枠組みを試していくというちょっとベクトルを、新たに組むということをやっつかないと、何かこのままずっと10年来こうやっていたということもありますが、何か新たな息吹が生まれない気がしているので、せっかく桜井委員もいらっしゃいますし、緑化推進に向けたやっぱり予算確保の仕組みづくりっていうのを、事務局にお任せするのではなくて、我々委員会もしっかり介入し、事務局もお手伝いしながら、何か予算確保に向けた動きっていうのをやってみませんかというのが、今のお話を受けて、感じた点です。できれば、大府コミュ以外の六つのコミュニティにもこういった提案型を使って、大府コミュに続けるような、団体に上級までステップアップしていただいて、さらに、その中で企業の競争も含めてやっっていくという道筋がつけられると非常に良い取組みになっていくのではないかなと感じましたので、ぜひ、今年度、若しくは来年度、大府コミュとしっかり協議しながら、協賛をどう集めるか、予算をどう確保するかっていう点もせっかくなので、腹を割って、色々取り組んでみると、良いと思います。ぜひ、お金のこと、これを継続していただきたいという思いが強いので、ぜひ、予算確保に向けてというところも、いやらしい話かもしれませんが、ちょっとメスを入れていかないといけない時期に来ているのかなと思います。引き続き、御検討のほうよろしく願いいたします。

## (2) 大府市緑の基本計画の実施状況について

——事務局から説明——

## (3) 令和5年度の事業計画について

——事務局から説明——

委員)

令和5年度の事業の中で、小中学校においてサクラとツツジの植樹祭を行うと説明がありましたが、これは植えた後の木の管理が必要になってくるかと思いますが、この部分はどのように考えたらよろしいでしょうか。

事務局)

基本的には、学校で管理していただくということになります。我々は、窓口となり愛知県のあいち森と緑づくり事業という補助金をもらいながら進めさせていただいておりますので、できる限り学校のほうでお願いしているというところでございます。

## 6. その他

次回：令和5年9月頃（予定）

水と緑の部長）閉会のあいさつ

熱心に御議論いただきましてありがとうございました。時間を見ていただくと、2時間45分、休憩もなく申し訳ございません。本日、初めての方もお2人いらっしゃるの、本当に市民活動として緑化に頑張ってくださいている団体、市民の方がいらっしゃるものがこれで分かっていただけたらと思います。これは、本当に手前みそです。二ツ池セレクトナという施設があって、本当に緑化全般をコントロールしていただしていますが、その活動がずっと広がって、今の形になっているのではないかなと思っています。今日はあまり時間がなかったので、市も頑張っているの、そちらの、また9月のときにお話をさせていただいて、我々の仕事としましてそれをいかに皆さん頑張ってらっしゃるものを横展開といいますか、つなげていって、さらにステップアップしていくかというお手伝いができることが我々の市の仕事だと思っていますので、また引き続き御助言をいただきまして、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。本当に今日ありがとうございました。

事務局）以上で、令和5年度第1回大府市緑化推進委員会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

以上